

# 令和元年度 水道事業会計決算のあらまし

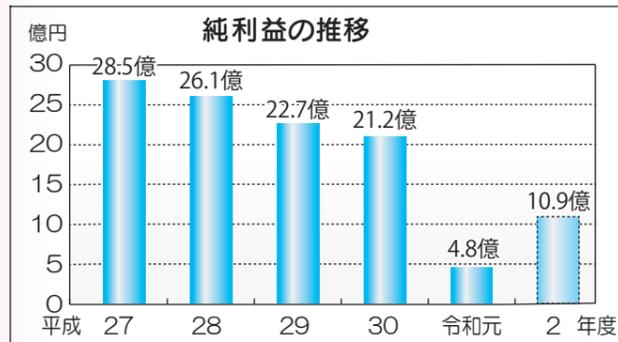
水道局では、「独立採算の原則」のもと、皆さまからいただいた水道料金を主な財源として、効率的な事業運営に努めています。令和元年度の決算が市議会で認定されましたので、その内容についてお知らせします。



## ◆ 令和元年度決算のポイント

### ● 純利益は約4億7,700万円で前年度と比べ大幅に減少

令和元年度の純利益は、令和元年東日本台風等の影響で前年度より約16億4,300万円減少し、約4億7,700万円となりました。



左のグラフを見ると、元年度の純利益は前年度と比べて大幅に減っているね。

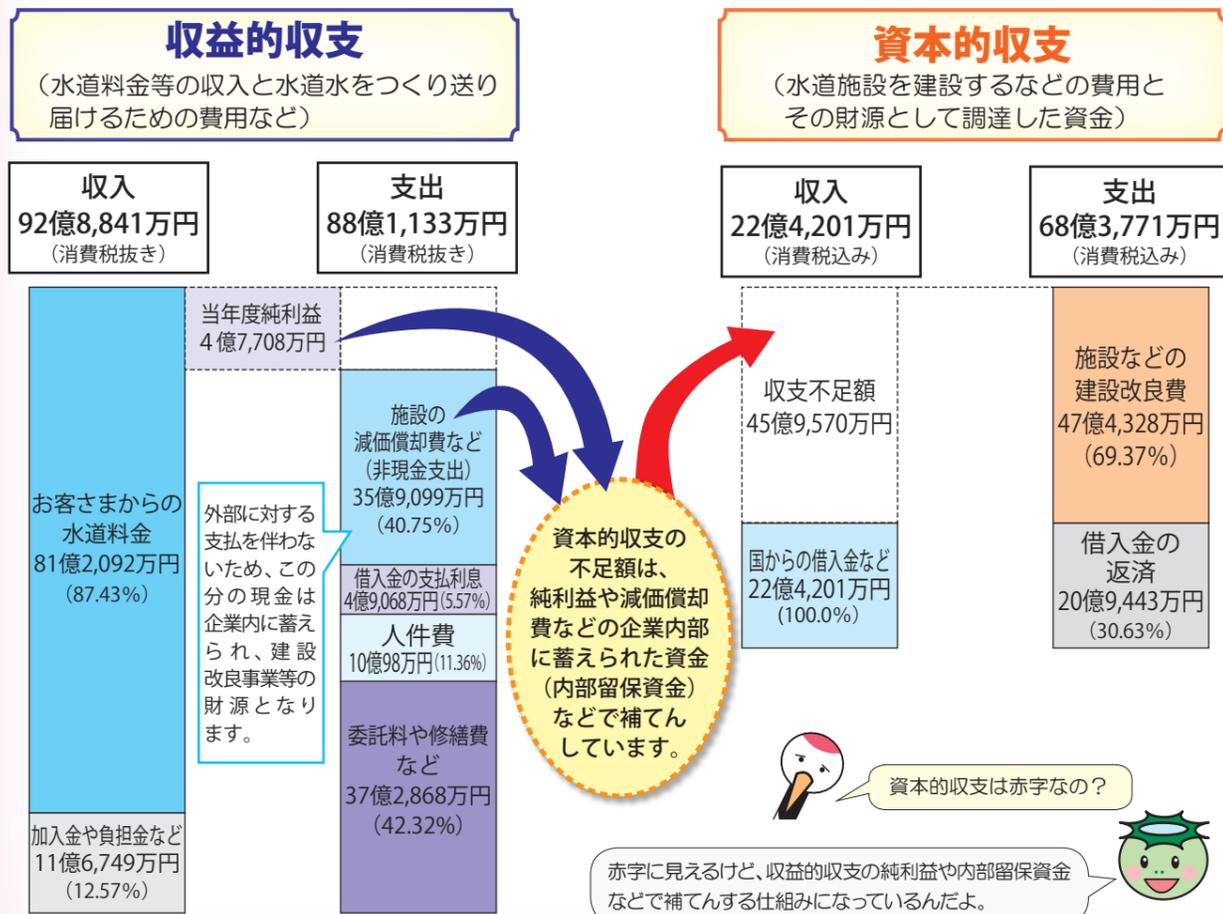
台風による豪雨で平浄水場などが浸水してしまったため、壊れた機械の修理や浸水対策などにたくさんの費用がかかったほか、水道料金の減免などで収入も減っているからだよ。

なるほどね。でも、これからは人口が減少して料金収入も減っていくと思うけど大丈夫なの？

そうなんだよ。だから、純利益を今までどおり確保していくのは難しくなってくるんだけれど、一方で、また同じように豪雨が発生した場合でも大丈夫な施設整備のために、たくさんのお金が必要になってくるから、これからも事業を効率的かつ効果的に進めていかなければならないんだ！

※ 水道事業の純利益は、水道施設の整備や借入金の返済に使われます。  
※ 令和2年度の純利益は、予算上の見込額となります。

## ◆ 水道事業は収益的収支と資本的収支の2本立ての会計になっています！



# 「基幹浄水場連絡管整備事業」とはどんな事業？

## ～「平・鹿島水系幹線」が完成しました～

### 1 基幹浄水場連絡管整備事業について

水道局では、通常時はもとより災害や水質事故等の非常時にも安定した給水ができるように、既存の施設の更新を兼ねながら、大きな浄水場（下記の概要図における4か所の浄水場及び法田ポンプ場）の間で水道水を相互に融通できるように連絡管や配水池等の整備を進めています。

本事業では次のような工事を行って、北部地区の浄水場から南部地区の浄水場配水区域へのバックアップの強化を図ります。

- ① 平配水池から中央台地区までの「平・鹿島水系幹線」の整備
- ② 鹿島地区と常磐地区を結ぶ「鹿島・常磐水系幹線」の整備
- ③ 浄水場水系間で水道水を相互融通するための「中部配水池」の建設など

### 2 平・鹿島水系幹線について

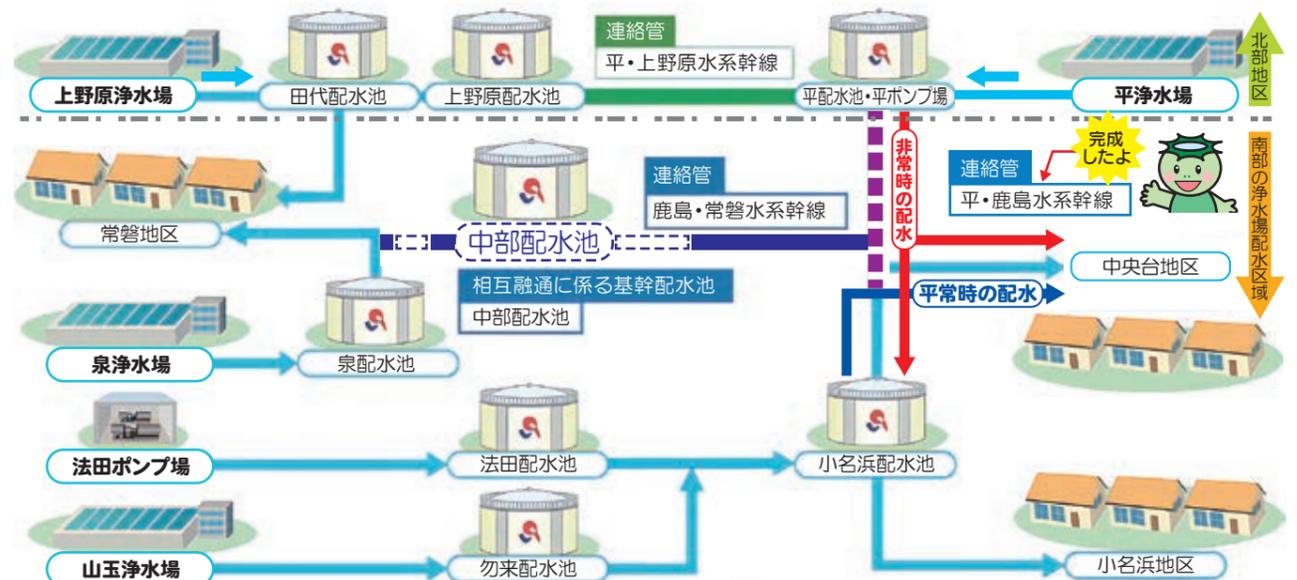
「平・鹿島水系幹線」が本年度に完成し、平配水池から中央台地区まで耐震性のある大口径の連絡管が整備されました。

これにより、南部地区の浄水場から配水していた中央台地区や小名浜地区へ、新たに平浄水場からの配水も可能となり、東日本大震災以前と比べ非常時における給水の安定性が向上しました。

### 3 施設の整備と効果

施設名称	施工年度	整備効果
平・上野原水系幹線	H15～H20	平浄水場水系と上野原浄水場水系の相互融通が可能となり、非常時における給水安定性が向上しました。
平第2配水池	H23～H27	必要な容量の確保や施設の耐震化および既設のポンプ場の統合を兼ねて整備しました。非常時には大きな浄水場間の相互融通ができる施設となりました。
平ポンプ場	H24～H27	
平・鹿島水系幹線	H15～R2	平浄水場から中央台地区や小名浜地区への配水が可能となり、非常時における給水安定性が向上しました。
鹿島・常磐水系幹線	H28～R10 予定	
中部配水池	R6以降予定	現在、泉浄水場から配水している常磐地区へ、平浄水場からの配水も可能となります。

### ○ 基幹浄水場連絡管整備事業の概要図



凡例 ■■■■■ 平成29年度から令和3年度まで(中期経営計画期間)の整備予定箇所 ■■■■■ 整備済幹線 ■■■■■ 平・鹿島水系幹線 ■■■■■ 令和4年度以降の整備予定箇所 ■■■■■ その他重要幹線